アキアカネが たくさん
園庭に遊びに来てくれます

さくら新聞

～笑顔de共育て～

令和３年11月１日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町７－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

月の主題　秋の自然にふれよう
今月の保育のねらい
・季節の変化や自然の美しさを知る
・秋の自然を感じ、木の実や落ち葉などで遊ぶ

目に見えないものを信じる力

さくら新聞７月号でご紹介した東京子ども図書館の名誉理事長であり、児童文学者の松岡享子さんが、この度、文化功労者に選ばれました。

＊文化功労者とは、文化の向上に顕著な業績を残した人に授与される称号で、今年度、俳優で歌手の加山雄三氏なども含め21名が選ばれています。

松岡享子さんの著作に『サンタクロースの部屋　子どもの本をめぐって』（小熊社）があります。

子どもたちは、遅かれ早かれ、サンタクロースが本当はだれかを知る。知ってしまえば、そのこと自体は他愛のないこととして片付けられてしまうだろう。しかし、幼い日に、心からサンタクロースを信じることは、その人の中に、信じるという能力を養う。わたしたちは、サンタクロースその人の重要さのためでなく、サンタクロースが子どもの心に働きかけて生みだすこの能力ゆえに、サンタクロースをもっと大事にしなければならない。

…中略…

心の中に、ひとたびサンタクロースを住まわせた子は、心の中に、サンタクロースを収納する空間をつくりあげている。サンタクロースその人は、いつかその子の心の外へ出て行ってしまうだろう。だが、サンタクロースが占めていた心の空間は、その子の中に残る。この空間がある限り、人は成長に従って、サンタクロースに代わる新しい住人を、ここに迎えることができる。

11月の下旬になると街中はクリスマスムードに染まっていきます。『目に見えないものを信じる力』つまり、**『想像力』**は、心豊かな人生を送っていくために、欠かせない大切な力です。クリスマスの時期は、目に見えない存在に子どもだけでなく、大人も思いをはせる時となるのではないでしょうか。

『サンタクロースって ほんとにいるの？』（福音館書店）の絵本も目に見えないけれど、いてほしいという子ども心に寄り添ってくれる作品です。

目に見えない存在は、サンタクロースだけでなく、子どもたちの周りには、魔法使い、かっぱ、妖精、絵本の中に出てくるたくさんの登場人物たちがいます。

豊かな**想像力**と豊かな**創造力**をつかって友だちと一緒に豊かに遊ぶ日々を重ねることをとおして、自分で考えて自分の人生を切り開いていく力を身につけてほしいと願っています。

さいごに、松岡享子さんの選定にあたっての言葉です。（抜粋）

地球上に難問が集積し、その解決に人智を結集する必要が生じている現在、わたしたちが頼りにするのは、なんといっても未来のポテンシャルをもった子どもです。彼らがそのポテンシャルを最大限にのばし、果敢に難題に向かって、その解決にすすんでくれるように祈らずにはいられません。そのために、ひとりひとりの子どもが、しっかりしたことばの力を身につけ、これまでに集積された、人類の智恵がある文学作品から多くを吸収し、将来へ向けて生かすことが望まれます。

11月 行事予定

日	曜日	内　容
4	木	さくらアートくらぶ（4歳児）
9	火	身体計測（乳児） おはなし会
10	水	身体計測（幼児）
11	木	内科健診 さくらアートくらぶ（4歳児）
18	木	さくらアートくらぶ（5歳児）

＊実習生のお知らせ　11/8～24　⇒大妻女子大学
PCR検査を受検した上で、実習に入っています
＊絵本貸出は、4（木）、11（木）
＊ニコニコフォト撮影日：11/18

区立保育園における年末保育募集のお知らせ

年末（12月29日、30日）に、保護者の就労により、家庭で保育できない保護者に代わって区立保育園でお預かりする事業です。（年末保育の対象は練馬区にご申告頂いている勤務先でのお仕事に限ります。）

詳細は、練馬区ホームページ、掲示を御覧ください

申込期間　：　令和３年11月１日（月）～11月26日（金）必着
申込先　　：　保育課保育支援係